

授業科目等の概要

ファッション専門課程 ファッションクリエイト学科 ファッションデザインコース 平成26年度

区分	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業との連携	
	必修	選択必修	自由選択						講義	実習	実技	校内	校外	専任	兼任		
服飾造形	○			服装造形 論	基本的な衣服の構造と縫製法を習得させ、人体を包む衣服の構成を1年間かけて理解させる。(一般知識、概説、用具説明、縫製の基礎、パターン記号、サイズの知識)アイテム別に基本のデザインから応用デザインまでの構造を習得させる(ディテール名称含む)	1・通年	120		○			○		○			
	○			服装造形 デザイン		1・通年	60		○	○	○	○		○			
	○			服装造形 実技	人体を計測観察し立体の基礎知識と技術の基本を習得させ、パターンメイキング)方法を習得させる。実物製作・部分縫いを通して基礎的な縫製技術を習得させる。(裁断、印し付け、仮縫い合わせ・補正)	1・通年	300			○	○	○		○		○	
	○			服装造形 平面構成		1・通年	90		○	○					○		
	○			服装造形 立体構成	立体裁断の基礎 一般知識・ボディの準備・裁断・タイトスカート、婦人原型、フレアスカートのドレーピング(文化ヌードボディ使用)	1・通年	30				○				○		
	○			生産企画	生産工場に習い、作品(製品)を提出日(納品)までに計画的に生産する流れを習得し、品質、原価、納期に関する意識を高めさせる。布地の持つ性質を理解させる。これらの授業を以下の実物作品を通し1年かけて習得させる。	1・通年	20		○		○				○		
	○			生産管理	○基礎 身頃原型・タイトスカート パターンの基礎、縫製の基礎 ○ギャザースカート 規定デザイン・工業用パターン・実物製作・レポート ○シャツブラウス パターン・実物製作・レポート	1・通年	20		○							○	
	○			アパレル品質論・素材論	○ワンピースドレス デザイン・パターン・実物製作・レポート ○パンツ デザイン・パターン・実物製作・レポート ○小物作り(手づくりフェスティバル)デザイン・実物製作・タグ・販売計画 ○ジャケット デザイン・パターン・実物製作・レポート	1・通年	20		○			○			○	○	
	○			パターンメイキング	○校外ショー作品 1年間の集大成としての実物製作、テーマに沿ったデザインをおこし製作・発表する。(ギャザースカート以降パターンは縫い代付き工業用パターンを製作)	1・通年	90		○	○	○				○		
○			工業パターンメイキング		1・通年	60		○	○					○			
ファッションデザイン	○			ファッションデザイン画	人体のプロポーション、衣服着装の表現(陰影、しわ、構造線)ができるよう基礎テクニックを中心とした演習。素材表現を習得	1・通年	30			○	○			○			
	○			クロッキー	対象物を素早く描くことでそのものの動きや変化を大きく捉え表現する力を習得させる。影の表現法、立体表現含む	1・前期	10			○					○		
	○			ファッション色彩学	色についての基礎的な知識講義。色彩によってデザインにどのような変化おこるのか、視覚的効果が得られるのかなどを習得させる	1・前期	20		○		○				○	○	
	○			服装史	古代から現代に至る西洋を中心とした服装の推移発展を映像など使って紹介し、今後のファッションデザインにその知識を活かせるようにする概論的講義	1・通年	30		○						○		
	○			ファッション情報	市場調査や雑誌やテレビ、インターネットなどから情報収集しファッションデザインに反映させる	1・通年	15		○						○		
	○			ファッションデザインCG	フォトショップの基本操作オリジナル画像の作成などを学ぶ。	1・通年	15			○						○	
○			テキスタイルデザイン	素材の知識や構造等テキスタイルの全般を学ぶ。	1・前期	30		○						○			

服飾工芸	○	服飾手芸	デザインと素材に合わせた技法から、多種多様な技法まで学ぶ。	1・前期	10		○					○		
	○	テキスタイル	テキスタイルを機織を使用し実物製作を通して、構造を習得させる	1・前期	15		○						○	
	○	染色	生地染色技法を実習を通して学ぶ。1年は絞り染めで染めの基礎を学ぶ	1・後期	5		○						○	○
ファッションビジネス	○	ファッションビジネス論	自分の感性を分析することやファッション業界全般について学ぶ	1・通年	10		○						○	
	○	マーケットリサーチ	商品開発や広告の為に市場調査、分析等を学ぶ。	1・通年	10		○						○	
	○	コンピュータワーク	コンピュータの基本操作を学ぶ。文章・表計算の習得	1・後期	10		○	○					○	
ファッションコーディネート	○	コーディネート論	アイテムや色彩を考えた、コーディネートの基礎知識を学ぶ。	1・通年	15		○						○	
	○	コーディネート演習	着こなしや、着せつけなどコーディネート基礎知識を学ぶ。	1・通年	30			○					○	
	○	ヘア・メイク	基礎化粧品・肌に合った手入れ方法の習得。メイクアップ・顔の特徴にあわせたメイク方法やステージで映えるメイク方法の習得。フレグランスとネイルの基礎講義。	1・通年	15		○	○	○					○
就職	○	就職ガイダンス	就職にむけて、自己分析から履歴書の書き方、面接の練習等実践教育する。	1・後期	15		○	○					○	
	○	企業研修	協力企業にて企業研修を行い、将来の職業に対する向上心を深め、卒業後の即戦力となる人材になることを目標とする。	1・後期	15		○	○					○	○
一般教養	○	茶道	お茶の作法から礼儀まで日本文化を学ぶ。	1・前期	15		○	○	○				○	
	○	ビジネスマナー	挨拶の仕方や姿勢、名刺の交換など社会人としてのマナーを学ぶ。	1・通年	10		○		○				○	
	○	美術鑑賞	美術館などを見学し美術、芸術ふれ創造力感性を養う。	1・前期	5		○						○	
その他	○	校外研修	学校外にて工場見学、作品展示、ファッションショーなどの研修を受ける。	1・通年	15		○						○	○
	○	特別講義	企業の方やデザイナーなどの業界の専門家を招き、講義を受ける。	1・通年	15		○						○	○
	○	学校行事	新入生歓迎会や作品発表などの行事。	1・通年	30			○					○	
学年合計				34科目		単位	1200単位時間(単位)							

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業との連携	
区分	必修	選択必修						自由選択	講義	実習	実技	校内	校外	専任		兼任
服飾造形	○		服装造形 論	基本的な衣服の構造と縫製法を習得させ、人体を包む衣服の構成を1年間かけて理解させる。(一般知識、概説、縫製の基礎と応用、パターン記号、サイズの知識)アイテム別に基本のデザインから応用デザインまでの構造を習得させる(ディテール名称含む)	2・通年	120		○			○	○				
	○		服装造形 デザイン		2・通年	60			○	○	○		○			
	○		服装造形 実技	人体を計測観察し立体の基礎知識と技術の基本を習得させ、パターンメイキング)方法を習得させる。実物製作・部分縫いを通して基礎と応用の縫製技術を習得させる。(裁断、印し付け、仮縫い合わせ・補正)	2・通年	300			○	○	○		○		○	
	○		服装造形 平面構成		2・通年	90		○			○		○			
	○		服装造形 立体構成	立体裁断の基礎 一般知識・ボディの準備・裁断・スカート応用、原型ダーツ、ブラウスのドレーピング(eduボディ使用)	2・通年	60			○	○	○		○			
	○		生産企画	生産に関する、実習を通して、既製服の製造工程と工業生産の仕組みについて、理解する。生産指示書の必要性を理解する。	2・通年	30			○	○		○	○			
	○		生産管理	アパレル産業における生産プロセスの理解実務を踏まえた生産管理基準レベルの習得。工業生産の仕組みを理解する。	2・通年	15				○		○	○			
	○		アパレル品質論・素材論	布地の持つ性質を理解し新素材の情報や産地について学ぶ。テキスタイル・アパレルの品質基準、評価法、品質表示等を学び、社会環境、消費性能を意識し、企画・販売などに生かせる知識を習得させる。	2・通年	15		○			○		○	○		
	○		パターンメイキング	デザイン、素材に適したパターンメイキング(作図)方法を学ぶ。	2・通年	150			○		○		○			
	○		工業パターンメイキング	工業用ボディによるドレーピングや平面パターンを工業用パターンに展開する方法の習得。	2・通年	30			○		○		○			
	○		グレーディング	パターンをサイズ別に展開する技術や知識を学ぶ。	2・前期	10			○		○		○			
	○		CADパターンメイキング	アパレル産業の設計・生産・製造のプロセスにおける、基本的なアパレルCADの操作を取得させる。	2・前期	10			○		○		○			
○		CADグレーディング	グレーディングから応用編のパターンアレンジまでの、テクニックを学ぶ。	2・前期	10			○		○		○				
ファッションデザイン	○		ファッションデザイン画	多様な画材を利用し、応用レベルの実力を身に付け、個々の感性を活かしたデザイン画を作成する事を学ぶ。	2・通年	30			○		○		○			
	○		ファッション色彩学	色彩、フォルムコンポジションなど色について学ぶ。	2・前期	30		○	○		○			○	○	
	○		モード史	現代ファッションの流れを理解し、服飾用語についての知識を深める。	2・通年	12		○			○		○			
	○		ファッション情報	雑誌やテレビ、インターネットなどから情報収集し市場調査する。	2・通年	6		○			○		○			
	○		ファッションデザインCG	フォトショップの基本操作オリジナル画像の作成などを学ぶ。	2・通年	12			○		○			○		
○		テキスタイルデザイン	素材の知識や構造等テキスタイルの全般を学ぶ。	2・通年	5		○			○		○				

服飾工芸	○	服飾手芸	デザインと素材に合わせた技法から、多種多様な技法まで学ぶ。	2・通年	5		○	○	○				
	○	ニット	手編み、編地の種類と特質を理解し編地の組織変化を学ぶ。	2・前期	5		○	○			○		
	○	帽子	帽子の作り方や構造などの基礎的な知識を製作を通して学ぶ。	2・後期	5		○	○	○				
	○	染色	生地への染色技法(型染め)を実習を通して学ぶ。	2・前期	5		○	○			○	○	
	○	アクセサリ	アクセサリの基礎知識を製作を通して学ぶ。	2・後期	5		○	○	○				
ファッションビジネス	○	ファッションビジネス論	自分の感性を分析することやファッション業界全般について学ぶ。ファッションビジネスの基礎知識の理解。ファッション産業構造の把握と専門業務について解説。	2・前期	15		○		○	○			
	○	マーケットリサーチ	商品開発や広告の為の市場調査、分析等を学ぶ。	2・通年	10		○		○	○			
	○	販売実務	販売員の仕事内容や対応の仕方など知識と実践を通して学ぶ。	2・後期	5		○	○	○	○			
ファッションコーディネート	○	コーディネート論	アイテムや色彩を考えた、コーディネートの基礎知識を学ぶ。	2・通年	15		○	○	○				
	○	コーディネート演習	着こなしや、着せつけなどコーディネート基礎知識を学ぶ。	2・通年	15		○	○	○				
就職	○	就職ガイダンス	就職にむけて、自己分析から履歴書の書き方、面接の練習等実践教育する。	2・通年	15		○		○		○		
	○	企業研修	協力企業にて企業研修を行い、将来の職業に対する向上心を深め、卒業後の即戦力となる人材になることを目標とする。	2・通年	15			○	○	○		○	○
一般教養	○	ビジネスマナー	挨拶の仕方や姿勢、名刺の交換など社会人としてのマナーを学ぶ。	2・前期	15			○	○			○	
	○	美術鑑賞	美術館などを見学し美術、芸術ふれ創造力感性を養う。	2・前期	15		○		○	○			
その他	○	校外研修	学校外にて工場見学、作品展示、ファッションショーなどの研修を受ける。	2・通年	15		○		○	○			○
	○	特別講義	企業の方やデザイナーなどの業界の専門家を招き、講義を受ける。	2・通年	15		○		○		○		○
	○	学校行事	新入生歓迎会や作品発表などの行事。	2・通年	30		○	○	○	○			
学年合計				36科目	単位	1200単位時間(単位)							
総合計				70科目	単位	2400単位時間(単位)							
卒業要件履修方法						授業期間等							
単位の取得、出欠席状況、課題提出、試験などにより評価をうけ修了すること						1学年の学期区分			2期				
						1学期の授業期間			21週				

(注)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すること。
- 2 企業との連携については、実施要項の3 (3)の要件に該当する授業科目について○を付すること。

授業科目等の概要

ファッション専門課程 ファッションクリエイト学科 ファッション技術コース 平成26年度

分類				授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業との連携	
区分	必修	選択必修	自由選択						講義	実習	実技	校内	校外	専任	兼任		
服飾造形	○			服装造形 論	基本的な衣服の構造と縫製法を習得させ、人体を包む衣服の構成を1年間かけて理解させる。(一般知識、概説、用具説明、縫製の基礎、パターン記号、サイズの知識)アイテム別に基本のデザインから応用デザインまでの構造を習得させる(ディテール名称含む)	1・通年	120		○			○		○			
	○			服装造形 デザイン		1・通年	60		○	○	○	○		○			
	○			服装造形 実技	人体を計測観察し立体の基礎知識と技術の基本を習得させ、パターンメイキング)方法を習得させる。実物製作・部分縫いを通して基礎的な縫製技術を習得させる。(裁断、印し付け、仮縫い合わせ・補正)	1・通年	295			○	○	○		○		○	
	○			服装造形 平面構成		1・通年	90		○	○		○		○			
	○			服装造形 立体構成	立体裁断の基礎 一般知識・ボディの準備・裁断・タイトスカート、婦人原型、フレアスカートのドレーピング(文化スードボディ使用)	1・通年	30				○	○		○			
	○			生産企画	生産工場に習い、作品(製品)を提出日(納品)までに計画的に生産する流れを習得し、品質、原価、納期に関する意識を高めさせる。布地の持つ性質を理解させる。これらの授業を以下の実物作品を通し1年かけて習得させる。	1・通年	20		○		○			○			
	○			生産管理	○基礎 身頃原型・タイトスカート パターンの基礎、縫製の基礎 ○ギャザースカート 規定デザイン・工業用パターン・実物製作・レポート ○シャツブ	1・通年	20		○			○			○		
	○			アパレル品質論・素材論	ラウス パターン・実物製作・レポート ○ワンピースドレス デザイン・パターン・実物製作・レポート ○パンツ	1・通年	20		○			○			○	○	
	○			パターンメイキング	デザイン・パターン・実物製作・レポート ○小物作り(手づくりフェスティバル)デザイン・実物製作・タグ・販売計画 ○ジャケット デザイン	1・通年	75		○	○	○	○			○		
○			工業パターンメイキング	ン・パターン・実物製作・レポート ○校外ショー作品 1年間の集大成としての実物製作、テーマに沿ったデザインをおこし製作・発表する。(ギャザースカート以降パターンは縫い代付き工業用パ	1・通年	45		○		○	○			○			
ファッションデザイン	○			ファッションデザイン画	人体のプロポーション、衣服着装の表現(陰影、しわ、構造線)ができるよう基礎テクニックを中心とした演習。素材表現を習得	1・通年	20			○	○	○		○			
	○			クロッキー	対象物を素早く描くことでそのものの動きや変化を大きく捉え表現する力を習得させる。影の表現法、立体表現含む	1・前期	10				○						
	○			ファッション色彩学	色についての基礎的な知識講義。色彩によってデザインにどのような変化おこるのか、視覚的効果が得られるのかなどを習得させる	1・前期	20		○		○	○			○	○	
	○			服装史	古代から現代に至る西洋を中心とした服装の推移発展を映像など使って紹介し、今後のファッションデザインにその知識を活かせるようにする概論的講義	1・通年	30		○			○			○		
服飾工芸	○			ファッション情報	市場調査や雑誌やテレビ、インターネットなどから情報収集しファッションデザインに反映させる	1・通年	10		○			○		○			
	○			テキスタイルデザイン	素材の知識や構造等テキスタイルの全般を学ぶ。	1・前期	30		○			○		○			
	○			服飾手芸	デザインと素材に合わせた技法から、多種多様な技法まで学ぶ。	1・前期	30			○		○		○			
	○			ニット	手編み(かぎ針、棒針)、編地の種類と特質を理解し編地の組織変化を学ぶ。	1・前期	15			○		○			○		
○			テキスタイル	テキスタイル(織機)を使用し実物製作を通して、織りの構造を習得させる	1・通年	45			○		○			○			

ファッションコーディネート	○	染色	生地の染色技法を実習を通して学ぶ。1年は絞り染めで染めの基礎を学ぶ	1・後期	5		○	○			○	○
	○	ファッションビジネス論	自分の感性を分析することやファッション業界全般について学ぶ	1・通年	10	○		○	○			
	○	マーケットリサーチ	商品開発や広告の為に市場調査、分析等を学ぶ。	1・通年	10	○		○	○			
	○	コンピュータワーク	コンピュータの基本操作を学ぶ。文章・表計算の習得	1・後期	10	○		○	○	○		
	○	コーディネート論	アイテムや色彩を考えた、コーディネートの基礎知識を学ぶ。	1・通年	15	○		○	○			
	○	コーディネート演習	着こなしや、着せつけなどコーディネート基礎知識を学ぶ。	1・通年	30		○	○	○	○		
	○	ヘア・メイク	基礎化粧品・肌に合った手入れ方法の習得。メイクアップ・顔の特徴にあわせたメイク方法やステージで映えるメイク方法の習得。フレグランスとネイルの基礎講義。	1・通年	15	○	○	○	○		○	
就職	○	就職ガイダンス	就職にむけて、自己分析から履歴書の書き方、面接の練習等実践教育する。	1・後期	15	○		○	○		○	
	○	企業研修	協力企業にて企業研修を行い、将来の職業に対する向上心を深め、卒業後の即戦力となる人材になることを目標とする。	1・後期	15	○	○		○	○	○	○
一般教養	○	茶道	お茶の作法から礼儀まで日本文化を学ぶ。	1・前期	15	○		○	○		○	
	○	ビジネスマナー	挨拶の仕方や姿勢、名刺の交換など社会人としてのマナーを学ぶ。	1・通年	10	○		○			○	
	○	美術鑑賞	美術館などを見学し美術、芸術ふれ創造力感性を養う。	1・前期	5	○			○	○		
その他	○	校外研修	学校外にて工場見学、作品展示、ファッションショーなどの研修を受ける。	1・通年	15	○			○	○		○
	○	特別講義	企業の方やデザイナーなどの業界の専門家を招き、講義を受ける。	1・通年	15	○			○		○	○
	○	学校行事	新入生歓迎会や作品発表などの行事。	1・通年	30		○		○	○		
学年合計				33科目		1200単位時間(単位)						

分類				授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業との連携
区分	必修	選択必修	自由選択						講義	実習	実技	校内	校外	専任	兼任	
服飾造形	○			服装造形 論	基本的な衣服の構造と縫製法を習得させ、人体を包む衣服の構成を1年間かけて理解させる。(一般知識、概説、、縫製の基礎と応用、パターン記号、サイズの知識)アイテム別に基本のデザインから応用デザインまでの構造を習得させる(ディテール名称含む)	2・通年	120		○			○		○		
	○			服装造形 デザイン		2・通年	60		○	○		○		○		
	○			服装造形 実技	人体を計測観察し立体の基礎知識と技術の基本を習得させ、パターンメイキング)方法を習得させる。実物製作・部分縫いを通して基礎と応用の縫製技術を習得させる。(裁断、印し付け、仮縫い合わせ・補正)	2・通年	330			○		○		○		○
	○			服装造形 平面構成		2・通年	60		○			○		○		
	○			服装造形 立体構成	立体裁断の基礎 一般知識・ボディの準備・裁断・スカート応用、原型ダーツ、ブラウスのドレーピング(eduボディ使用)	2・通年	30				○	○		○		
	○			生産企画	生産工場の流れを、実習を通して、理解させる。	2・通年	15			○	○		○		○	
	○			生産管理	工業ボディによるドレーピングや平面作図を縫製工場で使用する工業用パターンに展開する方法を習得させる。	3・通年	30				○	○		○		
	○			アパレル品質論・素材論	布地の持つ性質を理解し新素材の情報や産地について学ぶ。	2・通年	15		○			○		○	○	
	○			パターンメイキング	デザイン、素材に適したパターンメイキング(作図)方法を学ぶ。	3・通年	120			○		○		○		
	○			工業パターンメイキング	工業ボディによるドレーピングや平面作図を工業用パターンに展開する方法の習得。	2・通年	60			○		○		○		
○			グレーディング	パターンをサイズ別に展開する技術や知識を学ぶ。	2・通年	15			○		○		○			
○			CADパターンメイキング	基本的な原型入力のカ操作を学ぶ。	2・前期	15			○		○		○			
ファッションデザイン	○			ファッション色彩学	色彩、フォルムコンポジションなど色について学ぶ。	2・通年	30		○		○	○	○		○	
	○			ファッションデザイン画	一年次に学んだ基礎を基に、デザイン・色彩の創造過程の習得と演習を通して、より豊かな感性と表現力を身につけさせる。	2・前期	15			○			○		○	
	○			モード史	現代ファッションの流れを理解し、服飾用語についての知識を深める。	2・通年	12		○			○		○		
	○			ファッション情報	雑誌やテレビ、インターネットなどから情報収集し市場調査する	3・通年	6		○			○		○		
	○			テキスタイルデザイン	素材の知識や構造等テキスタイルの全般を学ぶ。	2・通年	27		○			○		○		
服飾工芸	○			服飾手芸	一年時に習得した服飾手芸の基礎知識を基に更に新しい技術を習得してよりクリエイティブな力を身に付けることを目標とする。	2・前期	15			○		○		○		
	○			ニット	手編み(かぎ針、棒針)、編地の種類と特質を理解し編地の組織変化を学ぶ。	2・前期	15			○			○		○	
	○			テキスタイル	テキスタイル(織機)を使用し実物製作を通して、織りの構造を習得させる	2・後期	15			○			○		○	
	○			帽子	帽子の作り方や構造などの基礎的な知識を製作を通して学ぶ。	2・後期	5			○			○			

服飾 工芸	○	染色	生地の染色技法(型染め)を実習を通して学ぶ。	2・前期	5	○			○		○	○	
	○	アクセサリ	作品にあったアクセサリを製作し、基礎知識学ぶ。	2・後期	5	○		○		○			
ファッション ビジネス	○	ファッションビジネス論	ファッションビジネスの基礎知識を理解。ファッション産業構造の把握と専門業務について理解、習得	2・前期	15	○			○		○		
	○	マーケットリサーチ	商品開発や広告の為の市場調査、分析等を学ぶ。	2・通年	15	○			○		○		
ネット ファッション コーディネート	○	コーディネート論	アイテムや色彩を考えた、コーディネートの基礎知識を学ぶ。	2・通年	15	○			○		○		
	○	コーディネート演習	着こなしや、着せつけなどコーディネート基礎知識を学ぶ。	2・通年	15	○			○		○		
就職	○	就職ガイダンス	就職にむけて、自己分析から履歴書の書き方、面接の練習等実践教育する。	2・通年	15	○			○		○		
	○	企業研修	協力企業にて企業研修を行い、将来の職業に対する向上心を深め、卒業後の即戦力となる人材になることを目標とする。	2・通年	15				○		○	○	
一般 教養	○	ビジネスマナー	挨拶の仕方、電話の対応。敬語の使い方、名刺の交換など社会人としてのマナーを学ぶ。	2・前期	15	○		○	○			○	
	○	美術鑑賞	美術館などを見学し美術、芸術ふれ創造力感性を養う。	2・前期	15	○			○		○		
その他	○	校外研修	学校外にて工場見学、作品展示、ファッションショーなどの研修を受ける。	2・通年	15			○			○	○	
	○	特別講義	業界各分野で活躍中の方を講師に招いての講義	2・通年	15	○			○		○	○	
	○	学校行事	新入生歓迎会や作品発表会、遠足などの行事を通して、コミュニケーションを深め、協調性や責任感、社会性を身につけさせる。	2・通年	30	○			○		○	○	
学年合計					34科目	単位	1200単位時間(単位)						
総合計					67科目	単位	2400単位時間(単位)						
卒業要件履修方法											授業期間等		
単位の取得、出欠席状況、課題提出、試験などにより評価をうけ修了すること											1学年の学期区分		2期
											1学期の授業期間		21週

(注)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すること。
- 企業との連携については、実施要項の3 (3)の要件に該当する授業科目について○を付すること。

授業科目等の概要

ファッション専門課程 ファッションクリエイティブ学科 ファッションビジネスコース 平成26年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業との連携	
区分	必修	選択必修						自由選択	講義	実習	実技	校内	校外	専任		兼任
服飾造形	○		服飾造形 論	基本的な衣服の構造と縫製法を習得させ、人体を包む衣服の構成を1年間かけて理解させる。(一般知識、概説、用具説明、縫製の基礎、パターン記号、サイズの知識)アイテム別に基本のデザインから応用デザインまでの構造を習得させる(ディテール名称含む)	1・通年	45		○					○			
	○		服飾造形 デザイン		1・通年	15		○		○	○			○		
	○		服飾造形 実技	人体を計測観察し立体の基礎知識と技術の基本を習得させ、パターンメイキング)方法を習得させる。実物製作・部分縫いを通して基礎的な縫製技術を習得させる。(裁断、印し付け、仮縫い合わせ・補正)	1・通年	340				○	○			○		○
	○		服飾造形 平面構成		1・通年	60				○	○			○		
	○		アパレル品質論・素材論	布地の持つ性質を理解し新素材の情報や産地について学ぶ	1・通年	30		○			○			○		
	○		パターンメイキング	デザイン、素材に適したパターンメイキング(作図)方法を学ぶ	1・通年	35		○		○	○			○		
	○		工業パターンメイキング	工業用パターンメイキングによるドレーピングや平面パターンを工業用パターンに展開する方法の習得	1・通年	25		○		○	○			○		
ファッションデザイン	○		ファッションデザイン画	人体のプロポーションや着装した衣服の表現、ディテールの描き方が出来るように基礎テクニックを中心とした演習	1・通年	21		○	○	○	○			○		
	○		ファッション色彩学	色についての基礎的な知識講義。色彩によってデザインにどのような変化おこるのか、視覚的効果が得られるのかなどを習得させる	1・前期	15		○		○		○		○		○
	○		服装史	古代から現代に至る西洋を中心とした服装の推移発展を映像など使って紹介し、今後のファッションデザインにその知識を活かせるようにする概論的講義	1・通年	8		○			○			○		
	○		ファッション情報	市場調査や雑誌やテレビ、インターネットなどから情報収集しファッションデザインに反映させる	1・通年	16		○	○		○			○		
服飾工芸	○		帽子	帽子の基礎的知識や構造、作り方など基本パターンを使って作り方の手順を習得	1・前期	30		○		○	○		○			
ファッションビジネス	○		ファッションビジネス論	ファッションビジネスの基礎知識を理解。ファッション産業構造の把握と専門業務について理解、習得	1・通年	60		○			○			○		
	○		ファッションマーケティング	市場調査(リサーチ)の調べ方や考え方を基礎的に習得。リサーチをレポート(プレゼンテーション)という形で人に物事を伝える術を身につける	1・通年	70		○	○		○			○		
	○		ファッションマーチャライジング	ブランドの企画から販売までの計画と管理の基礎的知識を理解、習得	1・通年	20		○			○			○		
	○		マーケットリサーチ	商品開発や広告、販売方法を企業のセールス活動の実例を引用しながら学び、市場調査、分析を実習する	1・通年	30		○	○		○			○		
	○		ディスプレイ	ディスプレイに関する構成、什器の使用法、テグスの使い方など、基本的な技術を理解、習得し、テクニックの向上を目指す	1・通年	30		○	○	○	○			○		○
	○		販売実務	販売員の仕事内容や対応の仕方などの知識と接客の基本動作を学ぶ	1・後期	18		○		○	○			○		
	○		リテールマーチャライジング(計数)	計数計算の方法を理解し、例題をときながら、基礎的な計算を解く力を身につける	1・通年	12		○			○			○		

ファッションビジネス	○	コンピュータワーク	コンピュータの基本操作を学ぶ。文章・表計算の習得、パワーポイントを使用し、プレゼンテーションを演習する	1・通年	30	○	○	○	○	○			
	○	ストアマネジメント	店舗内における接客、商品の量、計数管理などの基礎的な運営管理を学ぶ	1・後期	10	○						○	
	○	ビジュアルマーチャンダイジング	什器やボックスを使い、服の陳列方法やディスプレイの視覚(ビジュアル)を計画、実習する	1・通年	20	○	○	○	○				○
ファッションコーディネート	○	スタイリスト論	スタイリストに必要な知識と実務について学ぶ	1・通年	15	○							○
	○	スタイリスト演習	製作物作品や、時代、季節に合わせたコーディネートや着せ付け方を演習する	1・通年	15	○	○			○	△		○
	○	コーディネート論	アイテムや色彩を考えた、コーディネートの基礎知識を学ぶ。	1・通年	30	○							○
	○	コーディネート演習	着こなしや、着せつけなどコーディネート基礎知識を学ぶ。	1・通年	30	○	○						○
	○	ヘア・メイク	基礎化粧・肌に合った手入れ方法の習得。メイクアップ・顔の特徴にあわせたメイク方法やステージで映えるメイク方法の習得。フレグランスとネイルの基礎講義。	1・通年	30	○	○	○	○				○
就職	○	就職ガイダンス	就職にむけて、自己分析から履歴書の書き方、面接の練習等実践教育する。	1・後期	5	○							○
	○	企業研修	協力企業にて企業研修を行い、将来の職業に対する向上心を深め、卒業後の即戦力となる人材になることを目標とする。	1・通年	15	○	○					○	○
一般教養	○	茶道	お茶の作法から礼儀まで日本文化を学ぶ。	1・前期	15	○							○
	○	ビジネスマナー	挨拶の仕方や姿勢、名刺の交換など社会人としてのマナーを学ぶ。	1・後期	15	○							○
	○	英会話	日常会話に必要な文法を復習し、様々な表現方法を学ぶ。		20	○							○
	○	美術鑑賞	美術館などを見学し美術、芸術ふれ創造力感性を養う。	1・前期	10	○						○	○
その他	○	校外研修	学校外にて工場見学、作品展示、ファッションショーなどの研修を受ける。	1・通年	15	○						○	○
	○	特別講義	企業の方やデザイナーなどの業界の専門家を招き、講義を受ける。	1・通年	15	○						○	○
	○	学校行事	新入生歓迎会や作品発表などの行事。	1・通年	30		○					○	
学年合計				36科目		単位				1200単位時間(単位)			

分類				授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業との連携	
区分	必修	選択必修	自由選択						講義	実習	実技	校内	校外	専任	兼任		
服飾造形	○			服装造形 論	基本的な衣服の構造と縫製法を習得させ、人体を包む衣服の構成を1年間かけて理解させる。(一般知識、概説、用具説明、縫製の基礎、パターン記号、サイズの知識)アイテム別に基本のデザインから応用デザインまでの構造を習得させる(ディテール名称含む)	2・通年	25		○			○					
	○			服装造形 デザイン		2・通年	25		○		○			○			
	○			服装造形 実技	人体を計測観察し立体の基礎知識と技術の基本を習得させ、パターンメイキング)方法を習得させる。実物製作・部分縫いを通して基礎的な縫製技術を習得させる。(裁断、印し付け、仮縫い合わせ・補正)	2・通年	310				○	○			○		○
	○			服装造形 平面構成		2・通年	30				○	○			○		
	○			生産企画	生産工場などの製品を所定の納期までに計画的に生産する流れを習得	2・通年	15		○		○	○			○		
	○			生産管理	アパレル産業を把握し製品の品質・原価・納期に関する知識を高める	2・通年	15		○			○			○		
	○			アパレル品質論・素材論	布地の持つ性質を理解し新素材の情報や産地について学ぶ	2・通年	20		○			○			○		
	○			パターンメイキング	デザイン、素材に適したパターンメイキング(作図)方法を学ぶ	2・通年	50		○		○	○			○		
○			工業パターンメイキング	工業用パターンメイキングによるドレーピングや平面パターンを工業用パターンに展開する方法の習得	2・通年	20		○		○	○			○			
ファッションデザイン	○			ファッションデザイン画	人体のプロポーションや着装した衣服の表現、ディテールの描き方が出来るように基礎テクニックを中心とした演習	2・通年	18		○		○	○			○		
	○			ファッション色彩学	色彩、フォルムコンポジションなど色について学ぶ	2・後期	30		○		○	○				○	
	○			モード史	現代ファッションの流れを理解し、服飾用語についての知識を深める	2・前期	12		○			○				○	
	○			ファッション情報	雑誌やテレビ、インターネットなどから情報収集し市場調査する	2・通年	20		○			○			○		
	○			ファッションデザインCG	フォトショップの基本操作を学び、ショップDMの作成等を実習する	2・前期	10		○		○	○				○	
服飾工芸	○			アクセサリ	シルバークレイ等を使ったアクセサリ製作を実習する	2・後期	30		○		○	○			○		
ファッションビジネス	○			ファッションビジネス論	ファッションビジネスの基礎知識を理解。ファッション産業構造の把握と専門業務について理解、習得	2・通年	90		○			○				○	
	○			ファッションマーケティング	市場調査(リサーチ)の調べ方や考え方を基礎的に習得。リサーチをレポート(プレゼンテーション)という形で人に物事を伝える術を身につける	2・通年	30		○		○	○				○	
	○			ファッションマーチャンダイジング	ブランドの企画から販売までの計画と管理の基礎的知識を理解、習得	2・通年	30		○			○				○	
	○			セールスプロモーション(広告論)	広告の効果について学び、売上を上げる為の広告作りを実習する	2・前期	40		○	○	○	○				○	
	○			マーケットリサーチ	商品開発や広告、販売方法を企業のセールス活動の実例を引用しながら学び、市場調査、分析を実習する	2・通年	20		○	○		○				○	
	○				ディスプレイ	ディスプレイに関する構成、什器の使用法、テグスの使い方など、基本的な技術を理解、習得し、テクニックの向上を目指す	2・通年	20		○	○	○	○	△		○	○

ファッションビジネス	○	販売実務	販売員の仕事内容や対応の仕方などの知識と接客の基本動作を学ぶ	2・通年	10	○			○						
	○	インテリアコーディネート	照明の効果、床壁材の特徴から、設計デザインの基礎を学ぶ	2・後期	15	○	○		○					○	○
	○	リテールマーチャンダイジング(計数)	計数計算の方法を理解し、例題をときながら、基礎的な計算を解く力を身につける	2・通年	30	○			○					○	
	○	ストアマネジメント	店舗内における接客、商品の量、計数管理などの基礎的な運営管理を学ぶ	2・通年	15	○			○					○	
	○	ビジュアルマーチャンダイジング	什器やボックスを使い、服の陳列方法やディスプレイの視覚(ビジュアル)を計画、実習する	2・通年	30	○			○					○	
ファッションコーディネート	○	スタイリスト論	スタイリストに必要な知識と実務について学ぶ	2・通年	15	○			○				○		
	○	スタイリスト演習	製作物作品や、時代、季節に合わせたコーディネートや着せ付け方を演習する	2・通年	15	○	○		○	△			○		
	○	コーディネート論	アイテムや色彩を考えた、コーディネートの基礎知識を学ぶ。	2・通年	15	○			○				○		
	○	コーディネート演習	着こなしや、着せ付けなどコーディネート基礎知識を学ぶ。	2・通年	15	○	○		○				○		
	○	ヘア・メイク	ファッションコーディネーターとしての、ヘア・メイクのバランスを学ぶ	2・後期	15	○				○			○		
	○	ネイルアート	ネイルの基礎知識やアートネイルの手法を学びデザインする	2・後期	15	○	○	○	○				○		
就職	○	就職ガイダンス	就職にむけて、自己分析から履歴書の書き方、面接の練習等実践教育する。	2・前期	15	○			○				○		
	○	企業研修	協力企業にて企業研修を行い、将来の職業に対する向上心を深め、卒業後の即戦力となる人材になることを目標とする。	2・通年	15				○	○			○	○	
一般教養	○	茶道	お茶の作法から礼儀まで日本文化を学ぶ	2・前期	12	○		○	○				○		
	○	ビジネスマナー	挨拶の仕方や姿勢、名刺の交換など社会人としてのマナーを学ぶ	2・前期	15	○		○	○				○		
	○	英会話	日常会話に必要な文法を復習し、様々な表現方法を学ぶ。	2・通年	18	○		○	○				○		
	○	美術鑑賞	美術館などを見学し美術、芸術ふれ創造力感性を養う。	2・前期	15	○				○			○		
その他	○	校外研修	学校外にて工場見学、作品展示、ファッションショーなどの研修を受ける。	2・通年	15	○	○			○			○	○	
	○	特別講義	企業の方やデザイナーなどの業界の専門家を招き、講義を受ける。	2・通年	15	○			○				○	○	
	○	学校行事	新入生歓迎会や作品発表などの行事。	2・通年	30			○	○				○		
学年合計					41科目	単位		1200単位時間(単位)							
総合計					77科目	単位		2400単位時間(単位)							

卒業要件履修方法		授業期間等	
単位の取得、出欠席状況、課題提出、試験などにより評価をうけ修了すること		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	21週

(注)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すること。
- 企業との連携については、実施要項の3 (3)の要件に該当する授業科目について○を付すること。